

第100回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年10月30日（月）10：00～11：20

2. 場所：KKRホテル東京 11F 丹頂

3. 参加者：神野委員長、菅原委員長代理、宇野委員、小野委員、白須委員、
玉木委員、中嶋委員、林委員

4. 議事要旨

（1）令和5年度第2四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金の令和5年度第2四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

特に事務局からアクティブ運用の見直しに関して対策を講じていると説明したことについて委員からは、以下の意見等があった。

- ・アクティブファンドに関し一部見直し等の対策をしていることは結構であるが、パッシブ・アクティブ比率ありきの議論にはならないように進めていただきたい。

- ・マネージャーの選定にかかる企画提案から決定までのプロセスの開示について、どのような手法があるかも含め検討いただきたい。

（2）その他報告事項について

事務局から、資産運用委員会設置要綱の一部改正及びPRI署名について報告を行った。

委員からは、PRI署名について以下の意見等があった。

- ・公的機関が署名することには組合員からも賛同が得られるのではないかと。

- ・世の中全般にESG、SDGsに関する意識は高まっている。その結果、世論が変化することに公的機関が反応する余地は十分にあると考えられる。さまざまな要素が混在する領域なので、今一度、専ら被保険者の利益のためということに立ち返りながら、判断を誤らないようにしてもらいたい。

- ・連合会全体での対応が必要ではないか。特に初期対応は相当大変なものと聞いている。人的、金銭的成本もかかるので、PRIの様々なツール、セミナー及び資料を利用してパフォーマンスの向上に期待したい。

以 上